

自己評価書

令和6年度

東京農工大学

目 次

令和6年度自己点検・評価 総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

別表1 学生の受入に関する自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

別表2 学生支援に関する自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

別表3 施設整備に関する自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

施設整備委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

大学情報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

図書館商議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

別表4 教育課程と学修成果に関する自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

農学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

農学府・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

工学府・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

生物システム応用科学府・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

連合農学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

別表1

評価実施主体 評価対象事項	分析項目	入学試験 委員会
1-1. 各教育課程の入学定員充足状況	実入学者数が、入学定員に対して適切な数となっているか	3. 概ね適切

別表2

評価実施主体 評価対象事項	分析項目	教育・学生 生活委員会
2-1. 学年暦	授業期間が原則として35週にわたるものになっているか	4. 適切
2-2. 卒業率及び修了率	標準修了年限内の卒業（修了）率が適切な水準を保っているか	4. 適切

別表3

評価実施主体 評価対象事項	分析項目	施設整備委 員会
3-1. 施設・設備の整備状況	・施設・設備を計画的に整備しているか（独自項目） ・施設・設備について安全性が配慮されているか	4. 適切
評価実施主体 評価対象事項	分析項目	大学情報委 員会
3-3. 情報設備の整備状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、情報設備が適切に整備されているか	4. 適切
評価実施主体 評価対象事項	分析項目	図書館商議 会
3-4. 図書館設備の整備状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、図書館設備が適切に整備されているか。	3. 概ね適切

分析項目に対する自己評価			
4. 適切	3. 概ね適切	2. 一部不十分	1. 不十分

別表4

評価実施主体 評価対象事項	分析項目	農学部	農学府	工学部	工学府	生物システム応用科学府	連合農学研究科
4-1. シラバス入力状況	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	3. 概ね適切	3. 概ね適切	3. 概ね適切	4. 適切	3. 概ね適切	3. 概ね適切
4-2. 成績分布状況の組織的な確認状況	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切
4-3. 授業アンケート結果	授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
4-4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切

学生の受入に関する自己点検・評価（入学試験委員会（責任者は副学長（教学統括担当））

評価対象事項 1－1. 各教育課程の入学定員充足状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
実入学者数が、入学定員に対して適切な数となっているか	1-1-1_令和6年度学部・大学院入学者選抜状況（10月入学含む）	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
R5年度自己点検において、工学府博士課程共同サステイナビリティ研究専攻の志願者と入学者が0名であったことから、各種奨学金制度の拡充、社会人をターゲットに企業や研究所での説明会などを行い、博士取得を目指す研究者の獲得を図る取り組みを行ったところ、R6年度は1名の志願者を得た。		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府4年制博士課程共同獣医学専攻の超過率が前年度に続き1.3倍であることから、適正化を図る取り組みが機能している。		
【改善を要する事項】		
入学者の割合において、農学府農学専攻及び連合農学研究科が「大幅に超える（1.3倍以上）」、BASE食料エネルギーシステム科学専攻が「大幅に下回る（0.7倍未満）」状態であり、分析手順に示す適正な基準を満たしていない。		
工学府博士課程共同サステイナビリティ研究専攻においては、昨年度に続き入学者が0名であった。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（自己判定を2. または1. とした場合は必須）		
農学府農学専攻の入学定員の超過については、前年度に比べ改善の傾向がみられることから、引き続き適正な入学定員の確保に努めることとする。		
連合農学研究科においては、多くの専攻において入学定員が超過した状況を踏まえ、定員の見直しを検討している。		
BASE食料エネルギーシステム科学専攻においては、先進学際科学府への改組に伴い、学生募集を停止した。		
工学府博士課程共同サステイナビリティ研究専攻においては、志願者が1名・入学者が0名であったことから、前年度に引き続き経済的な支援が必要な博士課程への学生に対する各種奨学金制度を拡充し学費負担の軽減を図り、志願者の回復を目指すとともに、民間企業で研究している社会人をターゲットに企業や研究所に赴いて博士課程の説明会を行い、博士取得を目指す研究者の獲得を図る。		

学生支援に関する自己点検・評価（教育・学生生活委員会）

評価対象事項 2－1. 学年暦		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業期間が原則として35週にわたるものになっているか	2-1-1_令和7年度学年暦	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2. または1. とした場合は必須)		

評価対象事項 2－2. 卒業率及び修了率		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修了年限内の卒業（修了）率が適切な水準を保っているか	2-2-1_2023年度卒業率・修了率	別紙様式6-8-1に該当する資料
	（標準修業年限内の卒業（修了）率および「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分））	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（自己判定を2. または1. とした場合は必須）		

施設整備に関する自己点検・評価（施設整備委員会）

評価対象事項 3－1. 施設・設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・施設・設備を計画的に整備しているか（独自項目） ・施設・設備について安全性が配慮されているか	3-1-1_施設整備に関する自己点検・自己評価	
	3-1-2_令和6度施設・設備整備工事実施一覧	
	3-1-3_キャンパスマスタープラン2022	
	3-1-4_インフラ長寿命化計画（個別施設計画）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
「施設整備に関する自己点検・自己評価」で示されている評価の高い施設・設備を優先して計画されていることを確認した。また、「令和6度施設・設備整備工事実施一覧」により、今年度計画している工事が「キャンパスマスタープラン2022」の一覧表の上位であることを確認した。		
「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」で示されている「施設の評価項目と優先順位」についての評価配点で安全性を含む総合劣化度の評価点を他の評価項目（経年、教育研究に対する影響度）に比べ2倍の配点として評価しており、「安全性が配慮されている」ことを確認した。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
毎年「施設整備に関する自己点検・自己評価」を行い施設・設備の老朽度・緊急度を把握し、「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」の見直しを行う事により、各施設の実情に沿った整備を行う仕組みが構築できている。		
緊急度が高い、安全・防犯対策については、令和5年7月より施設整備課内に両地区のキャンパス整備係を組織することで両地区事務部との連携をはかり対応している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

施設整備に関する自己点検・評価（大学情報委員会）

評価対象事項 3－3. 情報設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、情報設備が適切に整備されているか	3-3-1_令和6年度：学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）	
	3-3-2_第6-2回大学情報委員会議事概要案	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

施設整備に関する自己点検・評価（図書館商議会）

評価対象事項 3－4. 図書館設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、図書館設備が適切に整備されているか。	3-4-1_令和6年度学術情報基盤実態調査(府中中央館)	
	3-4-2_令和6年度学術情報基盤実態調査(小金井分館)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
海外電子ジャーナル及びデータベースは、本体価格の上昇と円安の影響が大きい。このような状況下のなか、①電子ジャーナルの追加分、②令和7年1月から契約のSpringer Natureとの転換契約に係る大学予算を確保した。		
大学情報委員会の下、図書館が中心となって本学の研究データポリシー及び同解説を策定し、また、オープンアクセス方針についても同様に策定した。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
本学の研究データポリシー等の策定及び転換契約の予算確保については、上記【特記事項】とおり。その他、令和6年1月からACM_Openの新たな転換契約を開始した。		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_R6-1回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
	4-1-2_令和6年度シラバス公開率	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－2．成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_R6-4回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
	4-2-2_令和5年度後期分の成績分布に係る科目別詳細データ	※通知文書のみ
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4-3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-1_R6-3回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-1_第6-3回農学府・農学部学生生活委員会議事要旨	
	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_R6-1回農学府・農学部教育委員会議事要旨	再掲【農学部】
	4-1-2_令和6年度シラバス公開率	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－2．成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_R6-4回農学府・農学部教育委員会議事要旨	再掲【農学部】
	4-2-2_令和5年度後期分の成績分布に係る科目別詳細データ	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4-3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-1_R6-3回農学府・農学部教育委員会議事要旨	再掲【農学部】
	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-1_第6-3回農学府・農学部学生生活委員会議事要旨	再掲【農学部】
	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_工学部シラバス2024	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
シラバスの入力状況は全学教育システム（SIRIUS）で入力状況を把握することが可能であり、未入力の状況があれば授業担当教員に入力依頼を行う。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力は通年で依頼されるが、入力期間の案内が各教員に伝達されるとともに、入力期間後に各専攻・学科に配置されているシラバス点検委員により未入力科目や内容が不十分・不適切でないかを確認している。		
改善が必要なシラバスについては、シラバス点検委員より直接各教員に差し戻しが行われている。非常勤科目については教育委員もしくは窓口教員が入力の上、非常勤教員に確認を求めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
一部の学科において専門基礎科目のシラバス点検がなされていない状況であったため本年度、再度点検項目であることを確認した。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
工学府・工学部教育委員会において、一部の学科において未設定であった専門基礎科目のシラバス点検の担当者を決定する。		

評価対象事項 4－2．成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_工学部の成績分布(2024年度前期)	
	4-2-2_第2024-8回教育委員会議事要旨(組織的検討資料)	
	4-2-3_令6-7回教育・学生生活委員会(自己点検・評価のデータ提供)(組織的検討資料)	
	4-2-4_2024年度工学部履修案内(P30)(GPA制度)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学部ではR4年度より、従来は専攻や学科単位の統計的な成績分布による点検であったものを、学科長等・科目長等による科目ごとの成績分布による点検方式に変更した。成績は絶対評価を基本としているが、著しい成績分布の偏りがある場合には、到達基準の設定の適切性や試験問題に工夫が見られるかなどの確認を行い、是正を求めるなどの絶対評価における評価適切性を担保する取り組みをしている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2. または1. とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 4－3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-2-1_工学部の成績分布(2024年度前期)	再掲【工学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
工学府・工学部教育委員会において、各専攻・学科等の教育委員に授業アンケート実施の周知依頼を行った。学生には、SIRIUS掲示板及び一括メールを用いて、授業アンケートの実施依頼を行った。		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業アンケートは、履修人数が10人以下もしくは指導教員が確定している卒業論文などを除き、全科目で実施している。学期末の定期試験前の最後の講義等を実施を求めており、事前に教員にメールによる周知等を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
授業アンケートはWebによる提出を基本としているが、マークシートに比べて提出率が低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
教員に対してはアンケートを取ることを忘れることがないよう、教育委員を通して周知するとともに、学生に対しても授業アンケートへの協力を呼びかけている。		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
工学府・工学部教育委員会、工学府運営委員会を通して、各専攻・各学科の指導教員への卒業生・修了生アンケートの実施依頼について周知徹底した。学生にはSIRIUS掲示板及び一括メールを用いて、卒業生・修了生アンケートの実施依頼を行った。		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
アンケートの回収率を高めるために、指導教員などを通して卒業生・修了生アンケートへの協力を呼びかけている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
アンケート提出率が前年度の55%から40%に低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
運営委員会などで各教員に周知を徹底し、SIRIUSを通じて対象学生に周知を行うとともに、実施時期を早める等、周知時期や周知方法の改善を進める。		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_工学府博士前期課程シラバス2024	
	4-1-2_工学府博士後期課程シラバス2024	
	4-1-3_工学府博士課程（共同サステイナビリティ）シラバス2024	
	4-1-4_工学府専門職学位課程（産業技術専攻）シラバス2024	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
シラバスの入力状況は新学修管理システム（SIRIUS）で入力状況を把握することが可能であり、未入力の状況があれば授業担当教員に入力依頼を行う。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力は通年で依頼されるが、入力期間の案内が各教員に伝達されるとともに、入力期間後に各専攻・学科に配置されているシラバス点検委員により未入力科目や内容が不十分・不適切でないかを確認している。		
改善が必要なシラバスについては、シラバス点検委員より直接各教員に差し戻しが行われている。非常勤科目については教育委員もしくは窓口教員が入力の上、非常勤教員に確認を求めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－2．成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_工学府の成績分布(2024年度前期)	
	4-2-2_第2024-8回教育委員会議事要旨(組織的検討資料)	再掲【工学部】
	4-2-3_令6-7回教育・学生生活委員会(自己点検・評価のデータ提供)(組織的検討資料)	再掲【工学部】
	4-2-4_東京農工大学における GPA 制度に関する要項	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学府ではR4年度より、従来は専攻や学科単位の統計的な成績分布による点検であったものを、学科長等・科目長等による科目ごとの成績分布による点検方式に変更した。成績は絶対評価を基本としているが、		
著しい成績分布の偏りがある場合には、到達基準の設定の適切性や試験問題に工夫が見られるかなどの確認を行い、是正を求めるなどの絶対評価における評価適切性を担保する取り組みを開始した。		
【改善を要する事項】(自己評価を2. または1. とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 4－3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-2-1_工学府の成績分布(2024年度前期)	再掲【工学府】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
工学府・工学部教育委員会において、各専攻・学科等の教育委員に授業アンケート実施の周知依頼を行った。学生には、SIRIUS掲示板及び一括メールを用いて、授業アンケートの実施依頼を行った。		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業アンケートは、履修人数が10人以下もしくは指導教員が確定している卒業論文などを除き、全科目で実施している。		
学期末の定期試験前の最後の講義等を実施を求めており、事前に教員にメールによる周知等を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
授業アンケートはWebによる提出を基本としているが、マークシート（紙媒体）に比べて提出率が低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
教員に対してはアンケートを取ることを忘れることがないよう、教育委員を通して周知するとともに、学生に対しても授業アンケートへの協力を呼びかけている。		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
工学府・工学部教育委員会、工学府運営委員会を通して、各専攻・各学科の指導教員への卒業生・修了生アンケートの実施依頼について周知徹底した。学生にはSIRIUS掲示板及び一括メールを用いて、卒業生・修了生アンケートの実施依頼を行った。		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
アンケートの回収率を高めるために、指導教員などを通して卒業生・修了生アンケートへの協力を呼びかけている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
アンケート提出率が前年度の修士課程52%博士課程82%から修士課程36%博士課程74%に低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
運営委員会などで各教員に周知を徹底し、SIRIUSを通じて対象学生に周知を行うとともに、実施時期を早める等、周知時期や周知方法の改善を進める。		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス2023	
	4-1-2_BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス2023	
	4-1-3_BASE一貫制博士課程シラバス2023	
	4-1-4_BASE共同先進健康科学専攻シラバス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
シラバスの未記入率は、一貫制博士課程がやや多い。一貫制博士課程は集中講義が多く、集中講義の場合は、科目ごとに授業の日程がバラバラなので、シラバス入力期間にシラバスが入力されないことがあったため、		
集中講義の時期にもシラバスの点検を行った。		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_第2023-8回生物システム応用科学府学務委員会議事要旨(非公表)	
	4-2-2_第2023-8回生物システム応用科学府学務委員会の審議に基づき、委員長が確認している資料(非公表)	
	4-2-3_令和5年度生物システム応用科学府の成績分布(非公表)	
	4-2-3_令6-7回教育・学生生活委員会(自己点検・評価のデータ提供)(組織的検討資料)	再掲【工学部】
	4-2-4_東京農工大学における GPA 制度に関する要項	再掲【工学府】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】(自己評価を2. または1. とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 4－3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（各学部・学府・研究科）

評価対象事項 4－1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること（全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか）	4-1-1_第435回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
	4-1-2_令和6年度シラバス公開率	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☐ 4. 適切 ☒ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－2．成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4-2-1_第441回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
	4-2-2_令和5年度後期分の成績分布に係る科目別詳細データ	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4-3. 授業アンケート結果 独自項目		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4-3-1_第442回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
	4-3-2_2023年度前期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
	4-3-3_2023年度後期授業アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4－4．卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4-4-1_第436回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
	4-4-2_2023年度卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲【農学部】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
☒ 4. 適切 ☐ 3. 概ね適切 ☐ 2. 一部不十分 ☐ 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		